

読書によるひとづくりのまち
なかつがわ

未来をつなぐ図書館

～図書館といっしょに成長する～

趣味
生きがいづくり
サークル
講座

人との交流

読み聞かせ
図書館イベント

文化
情報の発信
歴史
生活

保育
子育て支援
家事

アイデア
ビジネス支援
資格

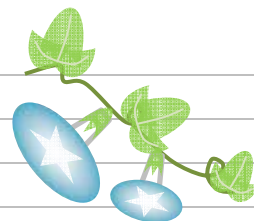
ふるさと発見！

本との出会い

就職
学習・研究支援
進学

ブックスタート
(赤ちゃん絵本プレゼント)

中津川市民のみなさまへ



拝啓 初夏の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今回は、図書館の本来あるべき姿とこれからの中津川市立図書館の将来像についてお伝えさせていただきます。

これまでの市立図書館は、主に本の貸出サービスを中心に行ってきました。そのため、図書館のもつ機能を十分果たせない活動になっていました。

本来の図書館の機能とは、「**日常生活の中で起こる問題や課題の解決を支援するとともに、人が生涯を通して学習していくにあたって役立つ多様な情報を提供する**」ということです。

情報は、書籍や新聞、雑誌、インターネットなど、あらゆるものに存在します。それゆえ図書館で提供する情報は、そのかたちを問いません。

また、情報はみなさんの頭の中にも存在します。人の頭の中にある情報は、人と人が交流することによって手に入れられます。市立図書館は、みなさんが交流することによって、書籍やインターネットなどに限らず、人の頭の中にある情報も手に入れられるよう支援をします。

図書館が市民の生活に役立つ施設となるためには、情報を発信する場としての機能を備えていく必要があります。それにより、「**過去に蓄積された情報を活用して生まれる新しいアイデアや考え、企画、デザイン、商品などの成果を情報として発信することで、ほかの誰かがその情報を活用し、また新しいアイデア、考えなどが生まれ、未来へとつながっていく**」という知の循環を生み出すことができます。図書館が情報の拠点となることで図書館に人が集まりそれによってまちの発展や地域の振興、活性化につながっていきます。

中津川市にこの知の循環を生み出すためには、これらの機能（**情報を手に入れる場としての機能、交流する場としての機能、情報を発信する場としての機能**）が図書館にそろうことが重要なのです。中津川市の図書館は今までの「情報を手に入れる場所」という図書館から一步踏み出した「**新たな成果を創(造)り出し、情報を発信する場所**」という図書館を目指しています。

以上のことから、理念は、「**知りたい、交流したい、発信したい 人が集まる創造情報館**」となりました。詳細につきましては今後の“図書館だより”などで順次、具体的に分かりやすく説明させていただき、市民のみなさんと共に歩み、成長し続けていきたいと考えております。

一度図書館へおいでになりませんか。スタッフ一同、お待ちしております。

敬具

平成 23 年 6 月 吉日

中津川市立図書館より

